市 民 情 報 提 供 資 料
都市整備部交通企画・モノレール推進課

多摩都市モノレール箱根ケ崎方面への延伸要望活動について

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会は、「多摩都市モノレール延伸の促進に関する要望」を取りまとめ、下記のとおり要望しましたので、お知らせします。

記

１　要 望 日　　平成３０年１１月９日（金）

２　要 望 先　　東京都知事
（三鷹・立川間立体化複々線促進協議会との合同による要望）

３　要望内容　　別紙のとおり

４　要 望 者　　多摩地域都市モノレール等建設促進協議会
（会長：立川市長、副会長：八王子市長、町田市長及び武蔵村山市長）

写

東京都知事

小池　百合子　殿

ＪＲ中央線三鷹駅立川駅間複々線化事業及び多摩都市モノレール延伸の促進に関する要望

平成30年11月9日

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

会長　立川市長　清水　庄平

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

会長　立川市長　清水　庄平

日頃から三鷹・立川間立体化複々線促進協議会及び多摩地域都市モノレール等建設促進協議会に対し御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

多摩地域は、420万人を超える都民の生活の場であるとともに、多様な産業の集積等により東京の発展を支える重要な地域であります。また、多摩地域の各市町村では、少子高齢社会における定住促進や観光振興等に取り組んでおり、公共交通の整備促進は、これらの施策を推進するための基盤となるものであります。

国の諮問を受け、平成２８年４月に策定された交通政策審議会の答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」においては、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトとして、中央線の複々線化、多摩都市モノレールの延伸が位置付けられたところであり、両協議会といたしましても事業化に向けて、大いに期待しているところであります。

そこで、別記の事項につきまして、要望いたします。

記

1．三鷹・立川間立体化複々線促進協議会要望

利用者の利便性の向上、鉄道ネットワークの信頼性・安定性の向上、都市間連携強化など大きな効果が見込まれる、ＪＲ中央線三鷹駅立川駅間複々線化事業及び青梅線立川駅西立川駅間三線高架化事業の実現に向けて、法整備や費用負担のあり方を含め、国に強力に働きかけるとともに、事業スキームを含めた事業計画の検討を進めることを要望する。

2．多摩地域都市モノレール等建設促進協議会要望

本年度より多摩地域の全市町村が加盟したことにより、多摩地域の総意として多摩都市モノレールの延伸事業を推進して参りたい。

東京都におかれましては、「東京都鉄道新線建設等準備基金」の創設をいただき、本協議会としても、多摩都市モノレールの事業化に向け一歩前進したものと捉え、大いに期待しているところであり、箱根ヶ崎方面、町田方面及び八王子方面の延伸の実現に向けて、事業化に向けた具体的な調整、事業計画の検討を進めることを要望する。

以上